



備えよう、冬の地震

冬が近づき、寒さも本格的になってきました。寒い時期に地震が起きると、被害がさらに大きくなる可能性があります。内閣府が作成した「南海トラフ巨大地震の被害想定について」でも、夏に比べて冬のほうが大きい被害になると想定されています。その要因として考えられるもののうち、「寒さ・火災・感染症」の3つへの備えについて、今回の一口メモでご紹介します。

寒さへの備え

地震により電気やガスが使用できなくなることが考えられます。こういった状況では暖房器具が使えなくなるため、低体温症への注意が必要です。非常持ち出し品に防寒グッズを追加しておきましょう。

◆用意しておきたいグッズ

- ・毛布 ・帽子 ・手袋 ・防寒着 ・防寒靴
- ・防寒シート ・カイロ ・雨合羽 ・厚手の衣類 など

※停電時でも使用できる暖房器具（ポータブルストーブなど）やポータブル電源を準備しておく心安心です。

火災への備え

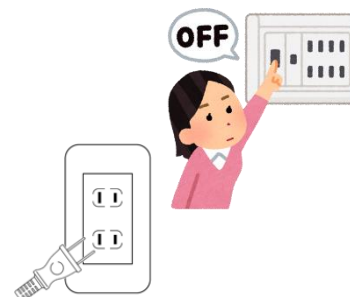
冬は暖房器具を使用する機会が増えるため、火災のリスクが高まります。また、地震による停電が復旧した際に、転倒・破損・落下した電気機器に通電して火災が発生したり、ガス漏れしているところに火花が飛んで引火したり、破損した電気配線に通電して可燃物に引火したりすることがあるため、火災が起きないように対策することが重要です。

◆地震発生後（身の安全を確保した後）の対策

- ・コンセントからプラグを抜く
- ・避難するときには、ブレーカーを落とし、ガスの元栓をしめる

◆日ごろからの対策

- ・暖房器具のそばには可燃物を置かないようにする
- ・使用しない電気機器の電源コードはコンセントから抜いておく



感染症への備え

冬は低温・低湿度を好むウイルスにとって最適な環境となります。さらに、避難所では人が密集するため感染症が拡大する恐れがあります。感染症対策に万全を期することが大切になります。

◆用意しておきたいグッズ

- ・アルコール消毒液 ・ビニール袋（ゴミ袋） ・マスク ・体温計 ・上履き
- ・ハンドソープ ・ウェットティッシュ ・ポータブル加湿器 など